

令和3年度寒川町社会教育委員会議第2回図書館部会 意見報告書

第2回図書館部会が書面開催のため、郵送等で意見報告書を提出いただきました。

【報告事項】

(1)新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う図書館の対応について

- 8月は緊急事態宣言が発出され、感染拡大もピークに達していたが、図書館3館への来館者数や貸出点数は7月よりも若干増えている。そうした需要の多い時期にあって、感染防止対策を取りつつもギリギリの線で開館を続けたのは評価できると思う。

(2) 令和3年度図書館事業の変更及び4月～8月実績について

- 緊急事態宣言が発出される中で、感染拡大を防ぐためにやむを得ずいくつかの事業を中止する一方で、感染拡大の懸念が比較的低そうな事業については継続するなど、それぞれの事業内容に即して適切に対応できたのではないかと思う。

【協議事項】

(1)総合図書館を拠点とした子どもの読書活動支援について

図書館を拠点とした学習活動支援について

- 「子どもに読書や図書館に来ることを楽しんでもらう」ということが大切だと思います。今、実施されている講座やイベントに参加した子が“また来たい”と思ってくれば、そのうち何人かがジュニア司書になってくれる、というような次に続く企画のシステムが展開できるといいですね。
- 「図書館職員のお仕事体験」のような企画がもしあったら、やってみたい子がいるのではないかと思います。
- 絵本や小説の作家さん追悼展示はとても良いと思います。
- 事業実績を数字で表すことは重要だと思います。ですが、参加や利用した人の満足度が高いことも実績に盛り込めると良いと思います。
- 「さむかわジュニア司書養成講座」の参加者が定員に満たなかったのは残念だが、コロナ感染が拡大する状況下では仕方なかったかと思う。また、「わくわく読書マラソンカード」の参加者も2019年度比で8割程度にとどまったが、これもコロナの影響が少なくなかったのではないか。今年度は実施できただけでもよしとすべきではないかと思う。

- 学校と連携した取組の充実について。新しい学習指導要領が全面改訂され、教科によっては学習内容や単元構成などが変更された部分も少なくないので、町立小・中学校での具体的な学習内容などを意識した蔵書構成や選書をより進めていくことが必要ではないかと感じる。既に実施されているかもしれないが、必要と思われる参考図書を学校側から挙げてもらっても良いのではないかと思う。
- 寒川町内で採用している小・中学校の教科書に出てくる国語の「物語」や理科の「観察記事」など原文と異なることがあります。(短くされていたり、言い回しを換えられていたり) 原文、原書を紹介する企画はどうでしょうか。

【その他】

県社会教育委員連絡協議会及び県公民館連絡協議会の令和3年度予定について

- 2月14日(月)の研究会に出席できるように調整するつもりです。実施されるかオンライン開催などに変更になりそうか、今わかる状況をお伺いできればと思います。